

## 平成28年度 広域農道整備事業 再評価調査

事業名	広域農道整備事業	地区名	<small>よしのがわちゅうぶ</small> 吉野川中部 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	吉野川市、美馬市
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は吉野川市から美馬市周辺にかけての中山間地域を結ぶ基幹農道として、既存道路の改良及び新設を行い、農産物流通体系の合理化と輸送労力の節減をはかるとともに、輸送体系改善による地域の生産流通体制の強化と農業経営の安定に資することを目的とする。また、併せて農村の生活環境の改善を図る。</p> <p>(事業内容)</p> <p>受益面積 1, 172 ha            受益戸数 2, 284 戸            主要工事 農道工4, 000m 全幅員7.0～5.0m(車道幅員5.5～4.0m)            総事業費 4,580, 000千円(国50%:県40%:市10%)            工期 平成4年度～平成31年度</p>		
	評価項目	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>本地区は、地形が急峻な区間が多く、法面保護工(法枠工等)や地すべり区域での対策工(アンカー工等)が必要になることがあり、工期の長期化を余儀なくされているが、土工量の低減等が可能になる補強土壁工法の採用や地形の状況に応じた弾力的な設計規格値の採用等により建設コストの縮減に努めており、平成28年度末までの進捗率は事業費ベースで89%となる。</p>	
<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>なし</p>			
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>農業従事者の高齢化、後継者不足等により地域農業を取り巻く状況は厳しく、輸送体系の合理化による営農労力の節減を図り、農業経営の近代化が急務となっている。</p> <p>一方では、道路等の社会資本整備が十分でない中山間地域にある本地区では、緊急時のライフラインとして、集落の孤立化防止や緊急輸送路を補完する機能を有する本農道の整備は一層重要なものとなっている。</p>			
目	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>なし</p>		
	<p>(事業効果の発現状況)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 走行条件の改善により運搬車種の大型化が図られ、輸送の効率化に貢献している。</li> <li>2 輸送体系の合理化により運搬時間の短縮が図られ、営農経費の節減に寄与している。</li> <li>3 一般車両の走行に係る経費が、時間・走行距離の短縮により低減されている。</li> <li>4 木材輸送、林地への通勤等の林業交通の走行経費節減により、山林経営の合理化に寄与する。</li> <li>5 総費用総便益比=総便益/総費用=1.39</li> </ol>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>関係市、地元受益農家から、早期完成を強く要望されている。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		